



▲地区対抗ドッチボール大会の様子



▲沿道花壇の花植え作業(石神交差点付近)

地域の話題

泉校区

世代を超えた人との結びつき

泉校区コミュニティ協議会から
安心安全なまちづくりの取り組みなどについて
お便りが届きました。



泉

校区は、田原市の北西部に位置し、8地区で構成されています。地域の将来像である「安心安全でより住みやすいまちづくり」を実現するため、各地区が豊かな自然とそれぞれの特質を生かしながら、まちづくりに取り組んでいます。

隣近所の付き合いが深い地区

泉校区は、保育園から中学校まで1校区1園1校であることから、隣近所の付き合いが深く、世代を超えて人との結びつきを強く感じられる地区です。まちづくりの柱である「安心安全なまちづくり」の取り組みとして、環境美化活動、各種スポーツ大会、盆踊り、市民館まつり、子ども会活動などの行事を支援・開催し、交流を図っています。



環境保全と交通環境の現状

今年3月には、伊川津地区にある「泉が池」の周辺が一部整備されました。この池は、現在でも四季を問わず常に一定温度の湧水がみられ、当時の泉村の村名もここに由来すると伝えられています。湧水のほとりには神様が祭られ、自治会が中心になり、毎年祭事も行っています。

また、公共交通の空白地域となっていた地区の代替手段として、平成23年度から乗合タクシー「ジャンボタクシーいずみ号」の実証運行を行っています。乗合タクシーは今年度も実証運行され、今後は利用者の意見なども聞きながら、運行方法やその必要性について、さまざまな課題を検証していきます。

花と緑のまちをアピール

環境美化活動では、泉中学校前の国道259号などの沿道緑地帯や地区で管理している花壇の草取り、花植え作業を年4回実施しています。これは、色彩豊かな花や樹木を植えることで、渥美半島を訪れる皆さんに「花と緑のまち・田原市」をアピールしているもので、環境美化活動を通じた、地域住民同士のコミュニケーションも図られています。

個性のある住みよいまち

泉校区は、個性のある住みよいまちを目指し、コミュニティ協議会と地域住民が連携を図り、これからもよりよい地域づくりに取り組んでいきます。



▲実証運行中のジャンボタクシーいずみ号